

霧島山

概況

御鉢火口の噴気活動は引き続き活発で、監視カメラでは、25日に御鉢火口縁上から高さ500mの噴気が上がっているのを観測しました。御鉢付近を震源とする火山性微動は観測されませんでした。また火山性地震は月回数が11回と少ない状態でした。

新燃岳の火山活動は、静穏な状態で経過しました。

噴気活動の状況

2003年12月中旬から活発になった御鉢火口内の噴気活動は、消長を繰り返しながら引き続き活発で、11～13日と24日には御鉢火口縁上から高さ400m、25日には高さ500mの噴気が上がっているのを観測しました（図3）。

新燃岳火口周辺では、噴気活動に大きな変化は認められませんでした。

地震・微動活動の状況

霧島山の地震回数（気象庁観測点A点）は9回（3月：53回）と、少ない状態で推移しました（図2）。

新燃岳

新燃岳付近を震源とする火山性地震は3回（3月：35回）と少ない状態で推移しました。これらの地震はいずれも微小な地震でした。新燃岳付近を震源とする火山性微動は観測されませんでした。

御鉢

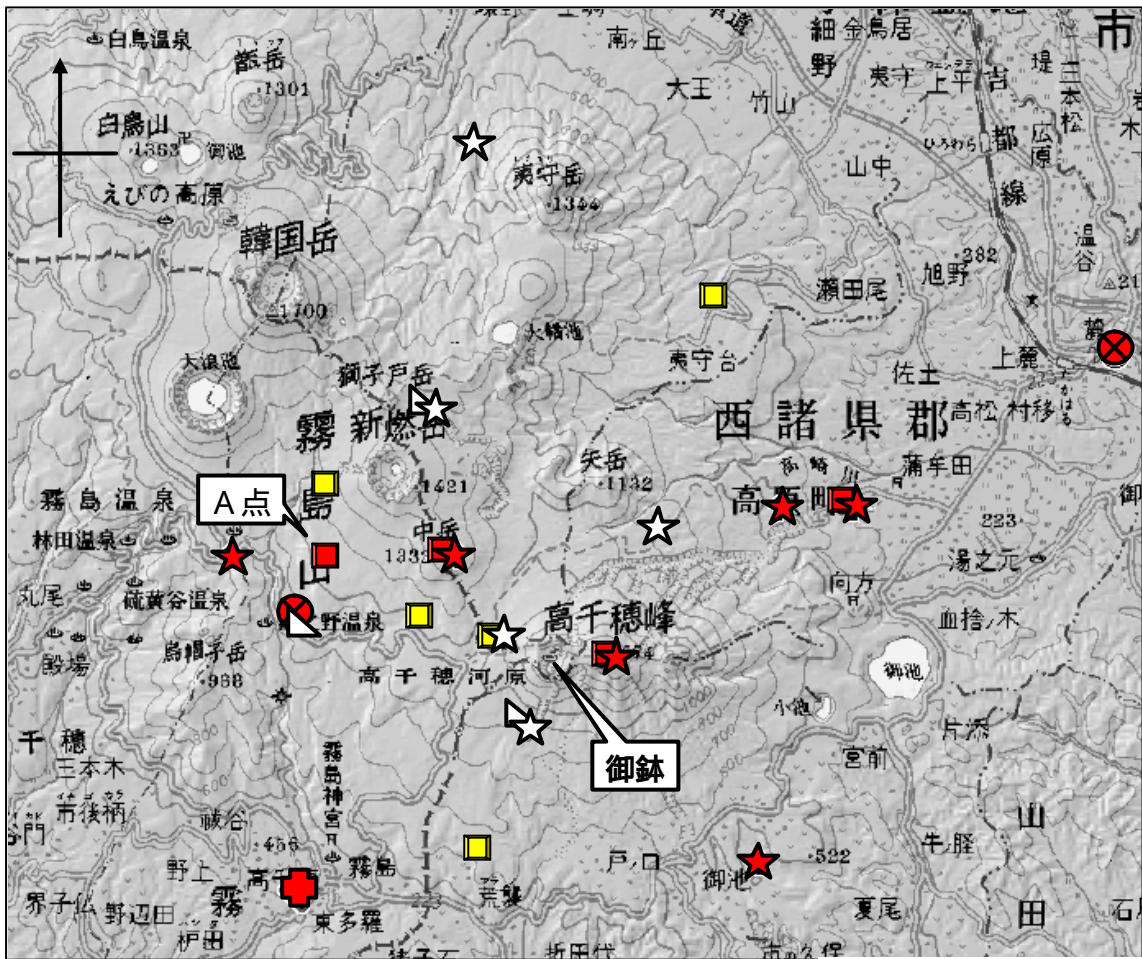
御鉢付近では、火山性微動は観測されませんでした。

御鉢付近を震源とする火山性地震は、1日あたり0から2回と少ない状態で経過し、4月の地震回数は11回（3月：67回）でした。

地殻変動活動の状況

GPS連続観測（気象研究所の観測点を含む）では、各観測点間の基線長に火山活動に起因する変化は見られませんでした（図5）。

また、気象研究所の3点の傾斜計には、火山活動に起因する変化は観測されませんでした。



- : 地震計(気象庁) 4箇所
- : 地震計(東京大学) 5箇所
- ★ : GPS(気象庁) 6箇所
- ☆ : GPS(気象研) 4箇所
- ⊗ : 空振計(気象庁) 2箇所
- ⊕ : 遠望カメラ(気象庁) 1箇所
- △ : 傾斜計(気象研) 3箇所

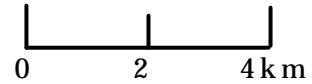


図1 霧島山広域観測点位置図(気象庁監視)

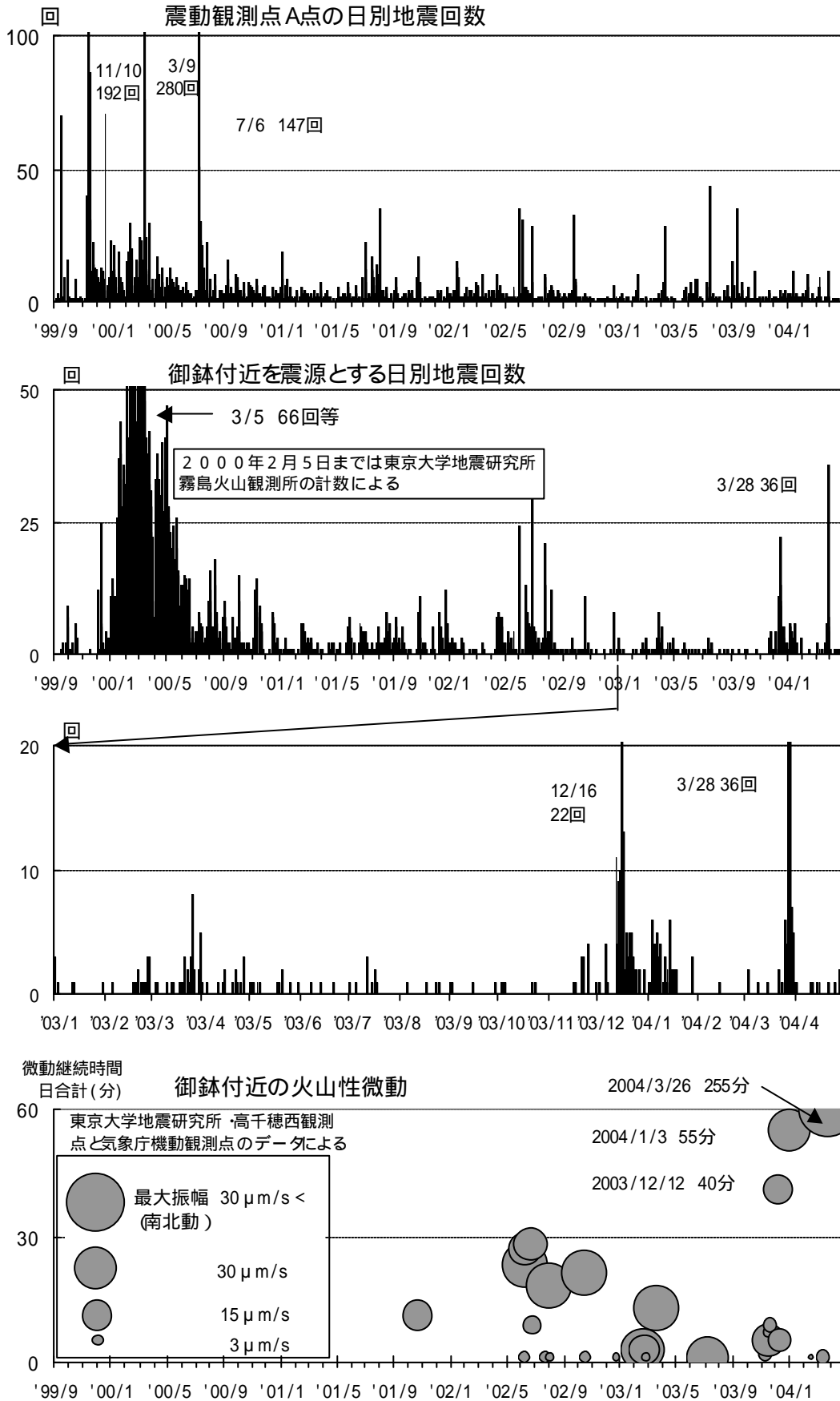


図2 火山活動経過図(1999年9月~2004年4月)

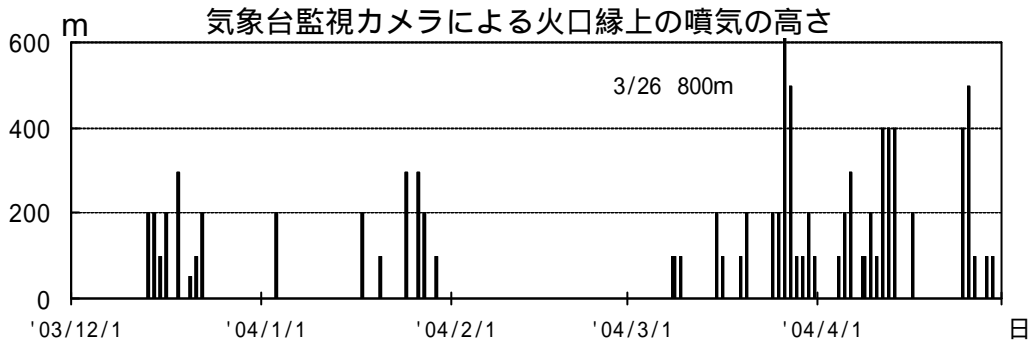


図3 御鉢火口の噴気の最高高度(2003年12月13日～2004年4月30日)

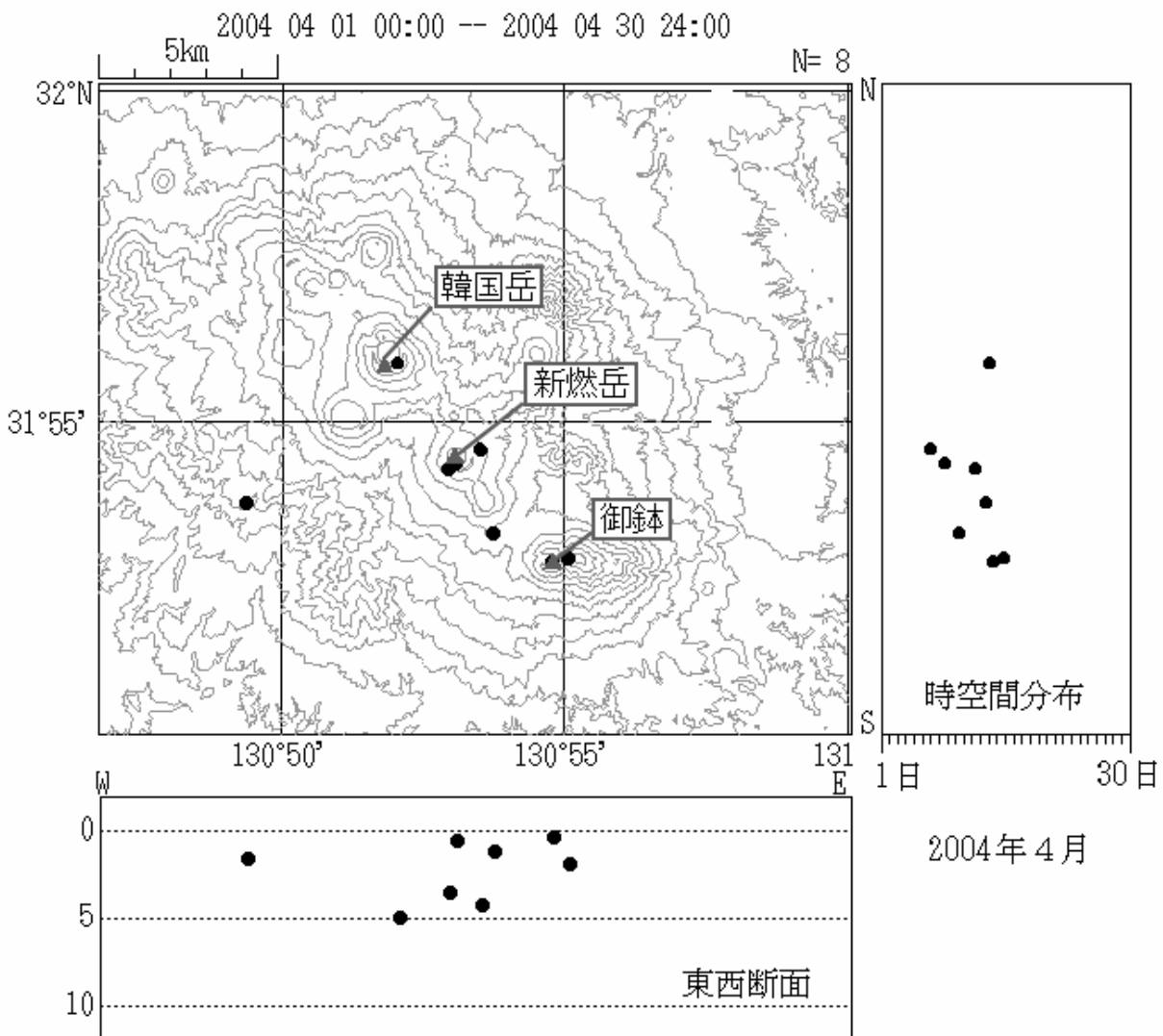


図4 震央分布図(上) 断面図(下) 時空間分布図(右)
(2004年4月1日～4月30日)

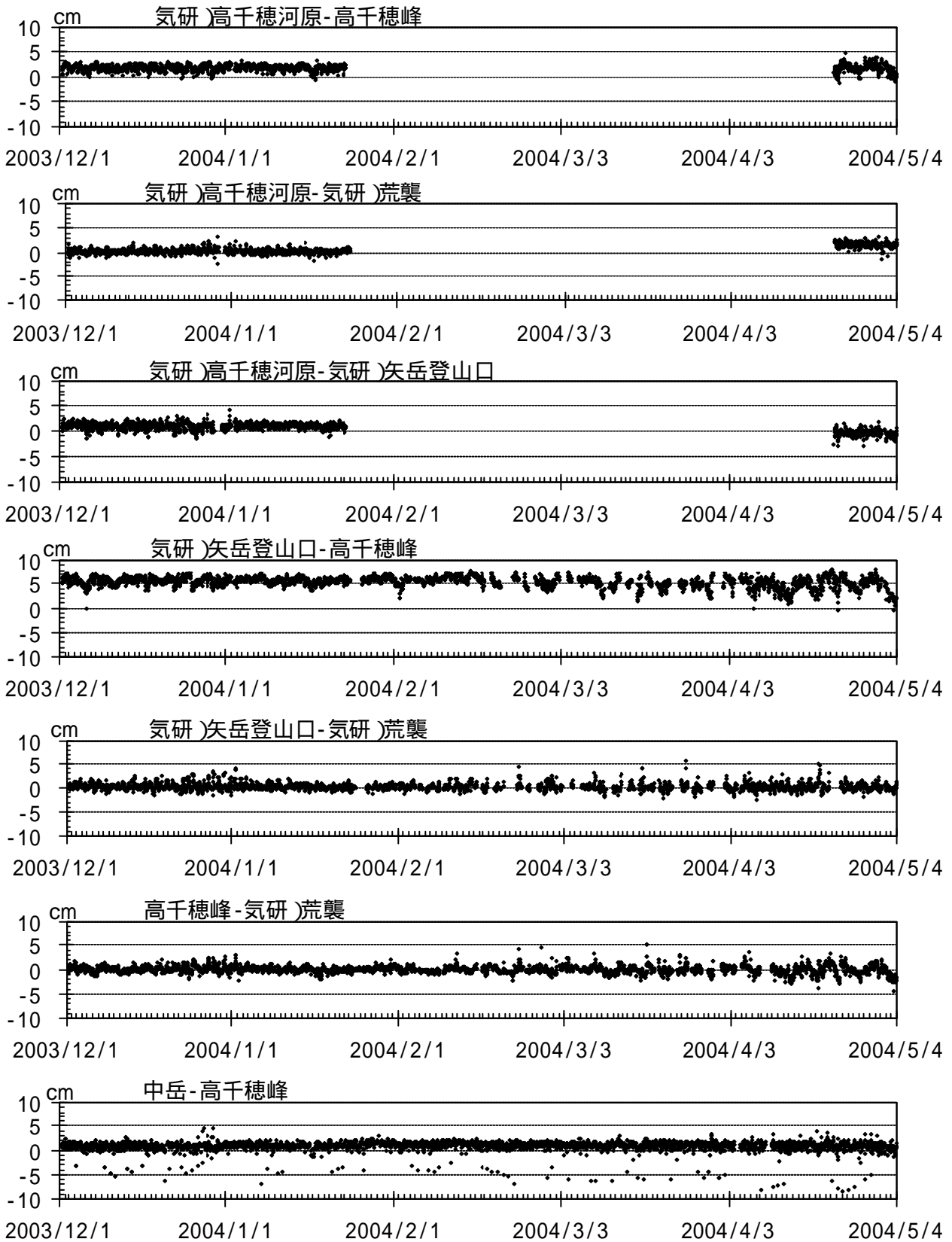


図5 GPSによる基線長変化(2003年12月1日~5月4日)
 ・気研)高千穂河原観測点は1月23日から4月22日まで欠測

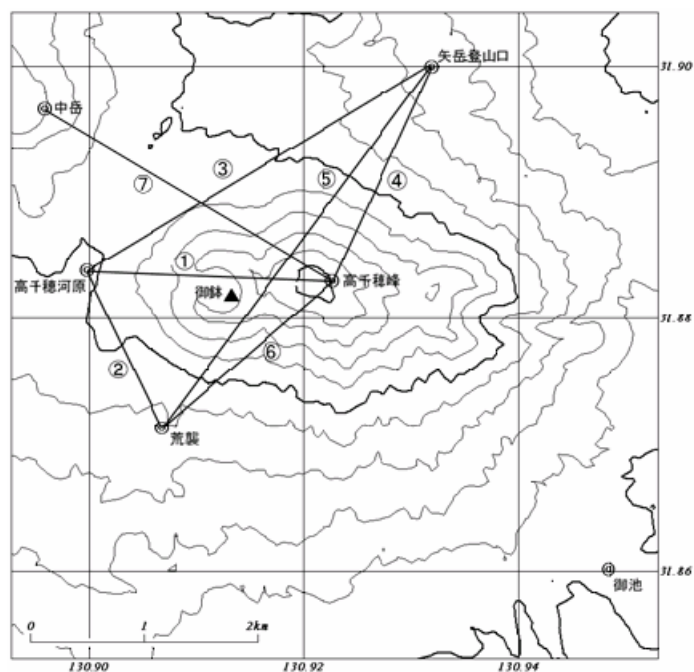


図6 GPS観測点位置図と基線